

**若き津波防災大使  
(日中植林・植樹国際連帯事業)  
参加者の感想（抜粋）**

(※「世界津波の日」2018 高校生サミット in 和歌山は、以下「サミット」と記載)

○アルゼンチン

世界中の青年たちと、文化や自然災害の知識などについて、お互いに理解しあえる、またとない素晴らしい交流の機会であった。この忘れられない経験は、未来のリーダーとして自分が成長していく上で、大いに役立つと思う。

○オーストラリア

このプログラムは、私がこれまで経験したことの無いような興奮する体験がいっぱいだった。「耐久高校」でのスタディツアーでは、交流を深められ、これからもお互い連絡をとれる友人関係を築くことができた。また、植樹によって私たちが日本に来た記念を残すことができ、またそれは、近い将来私たちが再びここを訪れる目標になるだろう。私はオーストラリアに戻ったら、経験したすべてのことを話すつもりであるが、特に、自然災害の防止、災害への意識と準備、災害を生き延びることの重要性を強調したいと思う。

○ブラジル

本コースでは多くの情報が盛り込まれており、とても楽しいプログラムであった。異なる文化やライフスタイルを持ちながらも、多くの共通点を持つ人々と交流が出来たことは大変貴重な経験になった。自然災害や防災に関する知識が身につき、どのようにして被害を軽減し、地域コミュニティで備え、命を守れば良いのかについても多くのことを学んだ。

また、多国籍の方との交流によって、様々な文化と触れ合い、大変勉強になった。帰国後はそれらの経験を共有し、また、コースで挙げられた議題や対策を発表し、行動計画を早速実行したいと考えている。

○ブルネイ

このプログラムに参加し、自然災害が発生したとき、自分の身をどう守るべきか、学ぶことができた。地震や津波、洪水等が起きたときの対処方法が分かり、大変有意義であった。異なる国の人とディスカッションができて、各国の自然災害に対する防災方法を理解することができた。

このプログラムに参加することで、自然災害、例えば、地震が起きたときに何をすべきかを知ることができた。

○カンボジア

スタディツアー、交流プログラム、植樹、環境保全と災害防止等のプログラムに参加して、私は、それが日々の生活、私の学校・地域・国で役立つものだと思っただけでなく、このプログラムは私の国、特に私が住んでいる地域の人々にとっても、とても重要なので、私たちは毎年このプログラムに参加すべきだ。

○カナダ

このプログラムから、私は、自然災害について新たな視点を得ただけでなく、世界全体で災害に対処する方法について新たな視点を得ることができた。起こり得る様々な災害に関してより深く理解できた。各国が行ったプレゼンにより、私たち全員がそこから多くのことを学んだことはとても有益だと思う。カナダに戻ったら、私たちが得た情報を共有し、ポート・アルバーニの将来と起こり得る自然災害に向け、よりよい計画を一緒に立てていきたい。

この一週間で私は、自然災害と我々の地域を守るためにとるべき行動について多くのことを学んだ。また、世界中から集まった人たちと友達になれたのは素晴らしいことだ。ここでの思い出をずっと忘れることはないだろう。

## ○チリ

学校がこれらの災害に備えて行っている対策を見て、とても感心した。自分たちの国には改善しなければならないことがたくさんあることに気付いた。重要視すべき防災対策がたくさんあるのに、実施されていないからである。国によって必要なことはまったく異なり、それぞれの国の特性がある。そのため全世界に共通の対策を生み出すのは難しいかもしれないが、不可能ではない。しかしながら人的、物的被害を未然に防ぐには、それぞれの国独自の対策を考えることがより効果的だと思う。

## ○中国

今回の活動で得た一番の学びは、災害を未然に防ぐという意識だ。気候変動や恐ろしい災害に直面しても、私たちにはそれを阻止する力がない。しかし、力を尽くして損失を軽減し、より多くの人命を守ることはできる。例えば、植林を通して、環境保護について青少年を教育することができる。今回のようなサミットを含め、防災教育を施すことで、青少年の災害への理解を促し、防災意識を高めていく。そうすれば、実際に災害に見舞われる前に、十分な準備を行い、被害を未然に防ぐことができるのだ。

中国と比べ、日本の地震や津波に関する教育や避難訓練のやり方は、専門的で成熟していると思う。しかし中国でも、突発的事態を含む、より多くのパターンの災害を想定した訓練を頻繁に行っている。防災教育と準備に関して、中日両国には、それぞれ長所と短所があるということだ。お互いに学び合えば、両国の防災システムが更に充実したものになる。

帰国したら、仲間や家族にも今回の活動で得た経験や学びを伝えたい。日本の歴史や文化や人情、それに防災知識や防災意識など、日本の優れた部分を取り入れ、今後に役立てたい。

## ○コモロ

世界中の高校生を集め、自然災害について教育し、考えを共有するという趣旨に感銘を受けた。皆の命を脅かす問題を最小限にとどめるための身近な対策を高校生に教えてくれる素晴らしいアイデアだと思う。和歌山県だけでなく日本政府にも親切にいただき感謝している。日本で1週間過ごすことができとても満足している。このことを誇らしい体験とできれば良いと思う。

## ○クック諸島

スタディツアーと記念植樹の交流プログラムは素晴らしかった。日本に来る前、私は津波やその歴史について何も知らなかったが、このスタディツアーに参加して、自分の中にはっきりしたイメージを持つことができた。

私は国に帰ったら是非このことをみんなに教えてあげたいと思う。私は自分が学んだことをありのままに発表したい。私の学校の生徒たちが自然災害に遭ったときパニックにならず、どうすべきか知って、自信をもって対処できるように、学校でもっと訓練をするようにしたいと思う。私は自分の国でこれらの安全対策を促進する人間になりたい。また、そのことを国に伝えていきたいと思う。

## ○デンマーク

和歌山に住んでいる人々が、今も稲むらの火や濱口梧陵氏を大切にしていることはとても印象的であった。防災や避難訓練を体験してみて、日本人の自然災害に対する考え方は、デンマーク人の考えとはまったく異なることが分かった。日本人は甚大な自然災害が、いつ、どこでも起こりえることを知っており、宿命的な物の見方があると思った。日本人は天災に備え、自然災害から得た経験を生かせるよう、常に取り組んでいる。これは他の国々が学ぶべき大事なことである。

お寺や避難所の見学、地元の方や他の参加者との交流を通して、和歌山の研修は本当に素晴らしい経験であった。この研修で自然災害の知識を深めることができた。他国の人の様々な意見を聞くことで、とても勉強になり、多くの人たちとのつながりができた。自然災害が起きたら、多くの命を助けるため、どのように協力し合うべきか、学ぶことができた。

### ○フィジー

私の国では、12年前には植樹のプログラムを行っていたが、政権が変わったためその後12年間には行っていなかった。だから再び私の国で行われるように勧めてみたいと思う。また、誰も自然の力を制御することはできないし、津波や地震がいつ我々を襲うか分からないので、真剣に避難訓練を行う必要がある。私たちの国ではそのような災害が起こっていないのでみんな何も気にせず暮らしている。私は常に準備しておくべきだということ学んだ。私はまた災害の最中や事後に弱い立場の人々を助けることについても学んだ。

### ○ギリシア

私にとってこの一週間は本当に素晴らしいものであった。世界中の人々と違う文化について、多くのことを知ることができた。学ぶことの多い一週間でもあった。自然災害について学び、日々の暮らしに役立つ行動計画を知ったことは価値あることである。

ギリシアに戻ったら、自然災害についてのみんなの意識を高めるため、ギリシアの人たちにいろいろな情報を伝えたいと意気込んでいる。

### ○インドネシア

日本の津波に対する備え方を見る機会を得たことで、同じことをインドネシアでも実行したいと心から思った。日本はしっかりと自国の文化を保存しており、その文化と歴史から災害について多くのことを学んでいると感じた。また日本人は、遺物を手入れするなどして保存しており、その存在を後世に伝える努力をしていることに感動した。

### ○キリバス

スタディツアーと植樹の交流プログラムを含む今回のプログラムは、とても有益なものであった。これらの活動により、私たち全員の間に新しいつながりと絆ができた。このプログラムが国と国との間の絆を強め、日本の人たちが困難を乗り越える能力を伝えていくことに役立つと願っている。

私が国に戻ったら、日本人が国を脅かすような大災害を乗り越えるためにどのように努力し能力を発揮してきたかを、学校全体、できればキリバスの全員に伝えたいと思う。そしてキリバスのみんなが濱口梧陵の気持ちを感じとり、彼がしたことを真似るように奨励していきたい。

### ○ラオス

電車の避難訓練は、災害発生時に生徒が自分の身を守る準備ができるので、素晴らしい取り組みだと思った。その他にも、濱口梧陵氏がいた時代、つまり日本は19世紀から防災対策をしていて、お城やお寺は山の上や海拔300m以上の高台に建てられているため、そのような歴史ある建物が数多く保存できていることを知り感動した。

### ○マレーシア

スタディツアーはとても楽しく面白かった。学生たちは親切で私たちによくしてくれた。私はまた避難訓練について学び、そのことから、みんなが地震や津波に対していかに準備しているかを知ることができた。

そして災害が起こったときに安全を確保し、生き延びるための指針を勉強した。私たちの国でもこれを実践することが必要だと強く思う。

### ○モルジブ

私はこのツアーを通して多くの情報を得ることができた。日本がこれ程自然災害に備えている一方で、モルジブでは自然災害への備えが不十分であるということを知ることができた。

また、これらの問題に対する重要性に多くの注意を払っている日本とは異なり、モルジブではこの問題に対する認識は低く、私たちはこのような災害に備えて準備をする必要がある。日本を良い例として、モルジブにおいても災害から人々を守れるようにしていければと思う。

### ○マーシャル

私は自分の国に帰って、みんなに津波への意識と準備を高めることを納得してもらおう努力をしようと思った。私たちはまだ津波を経験していないが、それはすぐにも起こるかもしれない。他の国々から多くの情報を得ることができて私はとても嬉しい。

私たち全員が共に活動していかなければならない。一つになり協力すればこそうまくいくのである。私たちは自分たちの国や家族や友達のために立ち上がらなければならない。私たちがいなければ、みんなは災害についての知識や準備が欠けているために危険にさらされることになる。そのためにも私たちがみんなを先導していこうと思う。

### ○メキシコ

体験した活動はどれも全く申し分なかった。私が知らなかったたくさんのことを教えてくれた。驚いた点がたくさんあった。またぜひ日本に来たい。なぜなら、日本の人たちはいつも心が温かく、謙虚で、友好的で、私は日本の人たちが大好きだからである。メキシコ人は一般的に日本人より社交的だが、メキシコは日本ほど秩序がない。ここ日本は何もかもとても穏やかである。

プログラムは、とてもよかったと思う。私たちは、防災について多く学んだ。「濱口梧陵の精神」を他の人に教えてあげようと思う。

### ○ミクロネシア

振り返ってみれば、私たちは災害のことを全く気にしなかった。そのため自分の国に帰って、日本で過ごした間に学習したすべてのことをみんなに伝えたい。行動計画で取り上げたように、災害に関するいろいろなことを改善し、津波が私たちの島を襲ったとき避難できるように高い建物を建てることなどである。というのも私たちのいるところには高い場所がないからである。

### ○モンゴル

いろいろな国の若者と一つのチームになり、意見を交わしながら宣言文を作成できたことに、感謝している。このような活動はとても有意義で、素晴らしいと思った。世界中の若者たちがお互いの経験を共有し、沢山のことを学ぶことができ、私も災害についてよく理解することができた。

### ○ミャンマー

このような述べる機会を頂き、感謝したい。今回の研修旅行は、日程や時間の正確さが素晴らしいかった。日本の生活の便利さや自然災害への対策をみて、日本が規則正しい国であることがわかった。お寺や神社を視察したときも日本の文化と習慣に触れることができた。お城に行ったときは、歴史的な遺産を見ることができた。学生の皆さんのおかげで楽しかった。自然災害への備えや防災訓練も視察できた。このような植樹活動も好きである。このような活動が今後も続いていくことを願う。災害警報を実際に聞き、アラートシステムや掲示板を見て、色々知ることができた。日本で見たことを国の友だちや家族、近所の人たちとシェアできるように頑張る。

### ○ナウル

スタディツアーは素晴らしいかった！すべてのことを私が国に帰って皆に教えてあげたら役立つに違いない。私たちは大きな脅威を経験したことがないが、若い世代が将来に備えることができるように準備をしたいと思う。このようなプログラムと体験に招かれてとても光栄である。違う国の人たちが一緒になって自然災害に備える様々な方法を体験できたことは素晴らしいことだと思う。

### ○ネパール

私はこのツアーをみんなと共有したいと思う。日本の文化について伝え、クラスメートや学校のスタッフに写真を見せるつもりである。濱口梧陵氏の話も共有したい。また、準備も万全で、歓迎してくれたことが嬉しかった。

また、私は学校に避難訓練を提案したいと思う。そうすればみんなが知識を得て世の中に伝えられるからである。学校の文化交流について話し、学校が安全であるためにどのように管理されているかを伝え、警戒を怠らず非常口を設置することの必要性を提案したい。さらに、三つの項目についての議論を共有したい。それは、災害の知識、意識と準備、災害を生き延びることである。また、日本が持っている素晴らしいテクノロジーについても共有できたらと思っている。

#### ○ニュージーランド

私はこのプログラムによって、私の国が津波だけでなく大きな災害に備えるための多くの新しい方法を学んだ。たくさんの国が、自然災害の最中と前後に対処しなければならない多くの問題に対して同様に直面してきたことに驚いた。

全体を通して、これらの差し迫った問題や我々高校生が家でやれる準備の方法について、さらに多くのことを知る機会を与えていただいたことに感謝したい。ニュージーランドに戻ってから、自然災害の本当のリスクへの意識を広める手助けをしたいし、私の町や国が最悪のシナリオに備えるために私の役割を果たしていきたい。

#### ○ニウエ

日本の和歌山県で開催されたこのプログラムは私の人生の中で最も素晴らしい経験の一つだったと心から思う。スタディツアーは歴史的な場所への見学もあり、日本の人々とその文化を知るよい機会となった。記念植樹はそれが象徴することにおいて、忘れられないイベントであった。そして「世界津波の日 2018」のワークショップ、バスでのスタディツアー、日本の学生たちとの素晴らしい交流は、間違いなく私の心にいつまでも残るイベントになった。

このプログラムでさらによかったと思うことは、48カ国の若者がこの体験を共有し、友情をはぐくむ機会となったということである。このことについて、日本の政府と実施団体に最大限の感謝の気持ちを伝えたい。アリガトウゴザイマス！

#### ○パラオ

私がこの旅行で一番よかったと思うのは、日本の生徒たちと会い、彼らが災害や緊急事態にどのように備えているかを知ることができたことである。災害の防止について仲間と話し合うことができ、単に講義を聞くよりも強い印象を受けた。日本の生徒たちが自分たちの地域に深く関わっているのは素晴らしいことである。彼らが緊急時に備えて一生懸命熱心に協力するのを見ることは刺激的であった。また行動計画はその単純明快なところが気に入った。日本人は先進的で複雑過ぎず役立つ方法を習得していた。

#### ○パプアニューギニア

このプログラムは、みんなが災害について知り、自分たちの命を守り、他の人の命を助ける方法を知るのに役立った。このプログラムから学んだことは、私が住んでいるところで知っていたこととは少し違うが、私は聞いたすべてのことをよく考え、それをみんなに話し伝えるつもりである。そうすればみんなが自分の命と他の人の命を救うことができる。私が改善すべきだと思うのは、私たちがもっと避難訓練を行い、それについてもっと学ぶことである。

#### ○パラグアイ

プログラムはとても楽しかった。自国の自然災害の状況、また災害についての知識を持つことの重要性を理解することができた。帰国したら、このサミットで得た知識を広め、世界津波の日の若き津波防災大使としての約束を果たしたいと思う。

#### ○ペルー

ペルーのクラスメートたちに、地震の際の避難方法について知ってもらいたいし、研修を行ったり、津波についての詳しい情報を提供したりしたい。多くの住民が被害にあった、日本で起きた津波について話すことで、大地震が起きた時にどう避難するかについてクラスメートの意識を高めたい。日本の学生たちは、事故が起こらないように、落ち着いてお互い助け合いな

がら避難訓練を行っていた。彼らのように、私の学校でも避難訓練を行い、生徒全員に避難する方法を教えることができればと思う。

#### ○フィリピン

私たちが参加した活動すべてが、公正で持続可能な未来を築いていくために必要不可欠なものだと言えるだろう。防御し備えることは、民間の避難訓練を含め、災害への耐久力を増していくために必要な組織だった取り組みの一部となる。私はフィリピンに帰ったら、日本が本当に素晴らしい国で、そこに住む人々がとても親切でいい人だったと伝える。

また、このプログラムを通してたくさんの友だちができ、災害にどのように備えるべきかについての知識を得たということも言わなければならない。

#### ○ポルトガル

日本での滞在を通じて学んだことは、自然を甘くみてはいけないということである。自然災害が頻繁に起こる日本では、自分よりも若い子供たちが様々な困難を乗り越えているが、その生きる術は小さい頃から教えられている。私たちの国では危機管理体制はそれほど高くなく、私自身も年上でありながらも、日本の子供たちのような経験をしたことがない。しかし、ボランティア活動等を通じて、辛いトラウマを抱える人々のために何か出来ることがあれば、是非力になりたいと考えている。それが、今後実現していきたい新たな目標である。

#### ○大韓民国

たくさんのことを学ぶことができたので、とてもいい経験になった。思っていたよりもたくさんのお話を学べ、韓国に帰って何をすべきかがわかった。日程の組み方も素晴らしく、内容も充実しており、滞在中ずっと感心していたし、すべてが有意義で本当によかった。避難する際のルール、私たちが話し合った内容を共有し、より安全な国を作っていけるように頑張りたいと思った。

#### ○サモア

このプログラムは本当に楽しかった。活動を楽しんだだけでなく、私たちが温かく歓迎してくれた地域の人たちも素晴らしかった。このプログラムに参加して、私の国でも意識を高めることが重要であり、生き延びる技術を知ることが生き延びて健康な生活をするために必要なだと教わった。私は自分の国に帰ったら、このプログラムに参加した人々、私の国の生徒たち、それに、違う学校の生徒たち、特に自然災害に遭う可能性が高い生徒たちと共に活動を始めた。

#### ○シンガポール

私たちが参加した避難訓練は真剣に受け止められ、全員が実際に起こった状況を想定して行動した。私の学校での模擬訓練はそれとは違い、軽く受け取られている。私の国でもいつ起こるかもしれない災害の脅威に備える意識を高め、積極的に訓練に参加する必要がある。

#### ○ソロモン

私は記念植樹が非常に重要で、今後のプログラムでも継続して行うべきだと強く思う。なぜなら、このプログラム全体が関係しているのが主に環境に関することであり、植樹はそれを完璧にイメージ化しているからである。今年のサミットのイベントにおいて環境問題は重要であった。私たちは環境を守らなければならない。そのことが津波や他の自然災害に対する最初の防御になるのである。

#### ○スペイン

様々な活動に携わることができ、とても充実した1週間であった。お城やお寺のような美しい場所を見ることができて、とても嬉しかった。最も印象に残っているのは、「稲むらの火祭り」に参加できたことだ。まさに魔法のような夜で、「稲むらの火」の歴史をより深く知ることができた。サミットのお陰で、開催期間中にたくさんの人に出会うことができた。また、

防災対策についても、より深く学ぶことができた。スペインに帰ったら、「稲むらの火」の精神を伝えたいと思う。人に話したり、SNSを通したり、この経験を広めたい。

#### ○スリランカ

日本に住んでいる人が津波、地震、台風などの災害に対し、どう対処しているかについて、たくさんのことを学んだ。さらに、他国からもそれぞれの意見やプロジェクトの提案があり、今まで知らなかった多くのことをスタディツアーで勉強することができた。植樹式もとてもよい経験であった。また日本に来る機会があれば良いと思う。

#### ○タイ

このプロジェクトは全ての人、全ての国にとって、とても良いプロジェクトで大変有意義であった。習得した知識は将来のために役立てることができると思う。また、このプロジェクトに携わった方々には大変良く対応していただいた。

#### ○トンガ

このプログラムのイベントの中で有益だったのは避難訓練であった。私たちはめったに津波や地震を経験しないので、訓練が行われることはとても大切である。津波の際の行動計画もまた重要である。日本とトンガの違いは、日本ではすでに備蓄や訓練を進めているが、トンガでは訓練は行っていない。しかし、トンガでも津波の脅威に対する意識が芽生えている。私が自分の国に伝えたいことは、津波に関しては自身の安全を確保すること、損害や費用についての知識、災害にいかに対処すべきかなどの解決策である。

#### ○トルコ

サミットのワークショップで一番良かった点は、防災に関して様々な国の人々の経験を情報交換できたことだ。帰国後は、自分の知識だけでなく、トンガや日本、インドネシアの情報を参考にして、避難計画と避難場所を作りたいと思う。日本の防災に関する豊かな経験から学ぶ点はたくさんあった。母国に戻り、学んだことを伝えるのが楽しみである。

#### ○ツバル

日本はとても美しい国で、人々も笑顔で温かく接してくれたので、ツバルにいるような気持ちで過ごすことができた。和歌山を訪れその歴史を知ることができて、本当によかった。高潔な濱口梧陵氏（稲むらの火）と数百年前の歴史的出来事を味わい深く聞いた。

また、耐久高校を訪問して、日本人の学生生活を体験したが、みんな私たちを歓迎してくれてとても嬉しかった。ここに来たことで心が洗われるようであった。私たち「若き津波防災大使」を迎えてくれた日本のみなさんに感謝したいと思う。アリガトウ。

#### ○米国

日本に来て文化の違いについて学ぶことがとても有益だと思った。ハワイの私の学校が災害に対して置かれている状況にいつも意識を向けることが大事だと気づいた。私たちの防災計画はもっときちんと練るべきだと思う。私の国の他の人たちに、どんな自然災害に対しても常にしっかり備えることが重要だと伝えようと思う。生きるか死ぬかの状況がいつ起こるか分からないし、何が起こるかも知ることができないのである。

#### ○バヌアツ

私はこのスタディツアーで、自分の国に伝え、みんなと共有すべきことを学んだ。それは、みんなが自然災害を真剣に受け止めなければならないということである。そうすれば自然災害が起こったとき、自分たちを守ることができるのである。

#### ○ベネズエラ

今まで経験したことのない貴重な活動ができた。日本の文化だけでなく、一緒に時間を過ごした他国の多くの人々の文化についても学ぶことができ、とても楽しかった。このような素晴らしい機会を頂き、心より感謝を申し上げたい。自然災害、そして日本に対して以前よりも深

い知識を身につけることができた。今回得た知識を自国に持ち帰れること、そして「若き津波防災大使」を名のれることは大きな喜びである。

#### ○ベトナム

防災についてより多く学ぶことができ、その重要性について深く理解することができた。国籍の異なる多くの友だちに出会え、環境保護や防災の経験について共有することができた。日本に来て、日本人の団結の精神、自然災害に対する備えについて、より理解することができた。大変感服し、ベトナムの友だちに日本の伝統文化や団結の精神、自然災害への備えと対応について伝えたい。多くの人にこのことを普及できるように努める。有意義な旅の機会を与えていただいた日本に感謝する。